



光と影のシンフォニー 藤城清治の世界展



夕陽の中の愛の奇跡 2004年作

2004年
7月17日(土)~9月5日(日)

主催・読売新聞社、美術館連絡協議会
共催・東京都写真美術館
協賛・花王株式会社、カルピス株式会社
協力・藤城清治事務所、日本通運株式会社

【休館日】毎週月曜日(7月19日(月・祝)は開館、翌20日(火)は休館)。
【開館時間】午前10時~午後6時(木・金は午後8時まで)入館は閉館の30分前。
【入場料】(当日券)一般=1,200(1,000)円、学生=800(700)円、小中高生および65歳以上=600(500)円。※カッコ内は団体、割引料金。
(前売券)一般=900円、学生=600円、小中高生および65歳以上=400円。
(ご購入は会場、チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、イープラスにて)

恵比寿ガーデンプレイス内
東京都写真美術館
地下1階・映像展示室

光と影、半世紀を超えて

〈愛〉をテーマに描きつづけて50年余。
光と影の詩人——藤城清治の傘寿(80歳)を記念する展覧会です。
戦後間もない頃のモノクロ作品から本展のための最新作まで、
作家本人の珠玉の所蔵品を中心に選りすぐられた約100点を公開!!

光と影で表現する絵画「影絵」。影絵を芸術として広く浸透させた作家が藤城清治です。あらゆる分野で幅広い制作活動続ける藤城清治の作品は必ずどこかでご覧いただいていることでしょう。

1924年、東京に生まれた藤城清治は、ジャワ島の影絵人形劇に魅せられ、影絵の制作を始めました。黒を生かしたモダンな作風は、いつの時代も変わることなく人気を集めており、どの作品も懐かしさだけでなく、新鮮な気持ちをも呼び起こします。

童話の世界や郷愁を誘う風俗、景色を、幻想的な色彩のシルエットで描く作品は高く評価され、1989年には紫綬褒章、1995年には勲四等を授章しています。

本展は、作家本人の所蔵品を中心に、戦後間もない頃のモノクロ作品から本展覧会を記念して作成した新作までの作品約100点を選びすぐりました。また、本展にのみ出品される縦3m、横4.3mの壁画「愛の泉」は、展覧会終了後カルピス株式会社に所蔵されます。

2004年4月に傘寿(80歳)を迎えたのを記念して開催する本展は、まさに藤城清治の集大成となる本格的な展覧会となります。



小男のしゃしんや 1954年作



光と影のシンフォニー 藤城清治の世界展

藤城清治 略歴

- 1924 4月17日、東京に生まれる。
- 1945 終戦により慶應大学にもどり、猪俣敏一郎、脇田和に師事。
- 1947 慶應義塾大学経済学部卒業。
- 1948 花森安治氏に認められ、「暮しの手帖」に影絵を連載。
- 1953 テレビ放送開始と同時にNHK専属となり、テレビに新しい分野を切り拓く。
- 1966 テレビ番組「木馬座アワー」で、オリジナルキャラクター「ケロヨン」が人気を呼ぶ。
- 1981 影絵画集「イエス」を出版。
- 1982 文化庁芸術祭で影絵劇「銀河鉄道の夜」が優秀賞を受賞。
- 1983 国際絵本原画展BIBで「金のリンゴ賞」を受賞。
- 1987 ニューヨークで影絵原画展を開催。
- 1989 紫綬褒章を授章。
- 1992 影絵画集「天地創造」を出版。
- 山梨県昇仙峡に影絵美術館を開設。
- 1995 勲四等旭日小綬章を授章。
- 1996 長野県白樺湖に影絵美術館を開設。
- 1998 北海道紋別生田原の木のおもちゃワールド館内に影絵美術館を開設。
- 1999 日本橋三越で影絵原画展を開催。日本児童文芸家協会より児童文化特別功労賞を受賞。
- 2000 福島県喜多方市美術館で個展を開催。
- 2001 浦和伊勢丹で影絵原画展を開催。
- 北九州博覧祭2001で影絵劇ライブを上演。
- 2002 銀座教文館のウェンライトホールで影絵展を開催。
- 2003 長崎ハウステンボス美術館で影絵展を開催。美術出版社より「藤城清治作品集」を出版。
- 2004 佼成出版社より「藤城清治自叙伝」を出版。



影絵展会場の藤城清治



たばことこごと 1960年作



宮沢賢治童話・銀河鉄道の夜 銀河への旅 1978年作

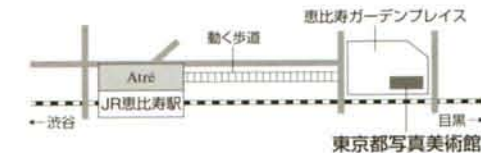


夏 魚しました 1990年作



夕日のぶらんこ 2002年作

東京都写真美術館
地下1階・映像展示室
(恵比寿ガーデンプレイス内)
〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3
TEL: 03-3280-0099
JR恵比寿駅東口より徒歩約7分
http://www.syabi.com/



問い合わせ

ハローダイヤル
TEL: 03-5777-8600